

平成27年度第9回政策会議

日時 平成28年2月1日(月) 14:00~15:00
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長
高橋総務部長 入江財務部長 川村財務部次長

2 函館駅前市有地の事業推進について

◎対応 種田企画部長 本吉企画部次長 田畑計画推進室長 中村政策推進課長

◆ 議題の趣旨 ◆

函館駅前市有地の事業推進について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■ 種田企画部長

函館駅前の市有地の利用推進について、土地開発公社の土地、市有地、JR北海道所有地を合わせたかたちで事業を進めるため、プロポーザルを実施させていただきたい。

□ 中村政策推進課長

前回公募後の経過については、平成26年5月に計画が取りやめになって以降、平成27年1月に、事業について可能性調査を81社に対して行い、36社から回答があった。その後、今後の対応等について、特別職で協議し、土地利用方針は踏襲、情報収集を行って合致する事業・提案があった場合には公募に向けた検討を行うこととし、その上で、当面、バス乗降場や、イベント、新幹線開業イベントのため活用することとした。昨年10月に、昨年1月の調査において、事業に関心を示していた10社にヒアリングを実施し、興味を示した6社に対し、昨年12月から今年1月にかけて、検討状況把握調査を行った。平成28年度において、再公募を実施したいと考えている。

今後のスケジュールについては、今年4月頃に募集要項を公表し、8月頃に最優秀提案者を決定、9月頃に事業協定締結および事業者を決定したい。

■ 工藤市長

開業時期を義務付けるのか。

■ 種田企画部長

公募条件とはしない。

■工藤市長

市としておよそいつ頃までにオープンして欲しいという希望は言えると思う。

■中村政策推進課長

次に、定期借地権の期間は制限せず、借地借家法の事業用定期借地権の存続期間である10年以上50年未満とする。

駐輪場は現在と同規模の敷地を土地開発公社所有地に確保し、市が整備管理する。施設内容に関する要件については、特に設けないが、実質的にホテルのみと判断されるような提案については選定しない。市民のためになる施設や空間を有する複合施設を選定するというところで審査会を行っていききたい。

■工藤市長

基本的に駅前に賑やかさをもたらす集客施設というのが元々の考え方である。

■種田企画部長

駐輪場についてご意見をいただきたい。

■工藤市長

場所については、こちらで指定するより、事業者が決まってから話し合いで決めたほうがよいのではないか。

■種田企画部長

できるだけ駅に近いところにしなければ、利用者に不便となることから、事業者との協議になる。

プロポーザル再公募は4月以降に実施させていただくこととしたい。